

利用者のために

- 1 統計資料は、令和元年（平成 31 年）の暦年または会計年度のものを主として収録し、他の年または年度のものとは比較対象のため掲載しています。ただし、令和元年（平成 31 年）または令和元年度（平成 31 年度）において資料のないものは最近年次のものを収録しています。また、一部令和 2 年の資料を使用しているものもあります。
- 2 年鑑のうち
年とあるのは暦年（1 月～12 月）を
年度とあるのは会計年度（4 月～翌年 3 月）を
期日とあるのは調査日現在をそれぞれ示します。
- 3 市町村合併により、以前の統計年鑑と同じ統計表でも「市町村」の表記方法が違う場合があります。これは、調査日現在の市町村数を基準としているためです。
- 4 統計表中合計数が内訳と合わないものがありますが、これは原則として単位未満を切捨てまたは四捨五入したことによります。
- 5 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「－」 皆無または該当事実なし
 - 「…」 資料なし
 - 「0」 掲載単位に満たないもの
 - 「X」 発表に支障のあるもの
 - 「△」 負数
- 6 年鑑に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要なとき、または疑義のある場合には、各表下部に付してある資料提供機関または福井県地域戦略部統計情報課に照会してください。